

学校名	北本市立宮内中学校
所在地	北本市宮内4丁目322番地
電話	048-543-2900

1 本校の概要

本校は「自立貢献」を学校教育目標に掲げ、夢と笑顔のあふれる学校を目指した教育活動を行っている。1年生120名、2年生101名、3年生111名、特別支援学級6名、合計346名の中規模校である。学校図書館指導員と連携しながら、読書活動の推進を図っている。

2 本校の実践

(1) 実践の視点

- ・ 生徒主体による読書推進のための委員会活動
- ・ 読書に親しむ態度や読書習慣に係る取組

(2) 実践の概要

生徒の読書活動が豊かなものとなるように、学校図書館指導員と連携しながら委員会活動を充実させている。生徒主体での活動とすることで、読書に親しもうとする心情の涵養を目指している。

ア 図書委員会主体による生徒集会

10月の生徒集会で全校生徒を対象とした啓発活動を行った。委員会時に生徒主体で実施計画の立案をし、集会を実施したことが全校生徒の読書に関する意欲向上に繋がったと考えられる。集会の具体的な実施内容は以下のとおりである。

- ・ 本の紹介を目的とした図書に関するクイズ
- ・ 図書室に蔵書されている本を知ることを目的としたクイズ
- ・ 本の読み聞かせ
- ・ 図書室のPR



イ 学校図書館指導員と連携した図書室環境整備

月ごとに創意工夫ある取組を企画することで、図書室の利用促進や魅力ある図書室経営に繋げることができた。具体的な内容は以下の通りである。

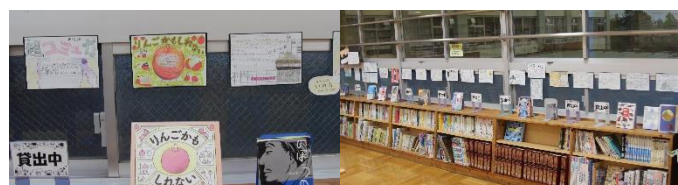
- ・ 「春のラッキーセブン★スタンプラリー」
- ・ 「短冊に願いをこめて」

- ・ 「長期休暇貸し出しウィーク」
- ・ 「POP 展覧会」
- ・ 「ハロウィンイベント」



ウ 市立図書館等と連携した読書推進活動

1学年国語科の授業で豊かな読書生活を築いていくことを目的としたPOPづくりを行った。優秀作品は校内図書室に掲示するだけでなく、市立図書館と連携しながら期間限定での展示をすることとなった。



3 成果と今後の課題

(1) 成果

- ・ 様々な企画の工夫をすることで、貸出冊数の増加につなげることができた。
令和5年度1学期貸出数→1,372冊
令和6年度1学期貸出数→2,321冊
- ・ 生徒主体での活動とすることで、図書室を活用しようとする意識を醸成することができた。

(2) 課題

- ・ 生徒たちが飽きないように創意工夫溢れた企画を考案していく必要がある。
- ・ 生徒主体の活動となるように先を見通した委員会運営と図書室経営を継続していく必要がある。

(3) おわりに

学校教育目標「自立貢献」を意識しながら読書活動充実のための実践を積み重ねることができた。「生徒主体」を活動の中心とすることで、生徒の達成感や成就感に直接的にシナジー効果をもたらすことができたと考えている。今後も学校内の連携だけでなく、連携の幅を広げた実践を心がけたい。